

服飾造形・実習Ⅰ

神崎 由里香・木村 千晶

ファッションビジネス科1年 前期 必修（演習／実習・実技）

◆授業の方針・概要

デザイン考案、製図から縫製、仕上げまでの一連の制作工程を実習し、服飾造形の基本的理論や縫製技術の基礎を習得する。さらに服を解体することでその構造を理解し、リメイク作品を制作する。同時に、サステナブルの見解から古着屋運営のノウハウも学んでいく。

◆到達目標（学修成果）

服飾造形の基本的理論と技術の習得、服の構造理解、リメイクができるようになる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

必修科目であり、1年次修了に必要な科目。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1週	用具・採寸について、基本スカートについて、1/2製図	復習:1/2製図まとめ	20分～ 40分
2週	スカート部分縫い 1/2製図、実寸製図、トワル[ピン打ち]	予習:シーチング地直し 復習:1/2製図まとめ	
3週	縫製[ファスナー付け・ベルト付け・カギホック]・部分縫い	復習:縫製など	
4週	スカート デザイン相談、実寸製図、トワル仮縫い、工業用パターン	予習:デザイン考案 シーチング地直し	
5週	裁断、縫製	予習:縫製手順作成・地直し	
6週	縫製、仕様書、作品提出	予習:仕様書作成	
7週	シャツの解体と再構成	復習:作品制作、縫製など	
8週	市場に出回るリメイク研究	復習:リサーチとまとめ	
9週	シャツリメイク シャツリメイク①	復習:作品制作、縫製など	
10週	シャツリメイク②	復習:作品制作、縫製など	
11週	シャツリメイク③	復習:作品制作、縫製など	
12週	雑貨小物 リメイクによる帽子制作①	復習:作品制作、縫製など	
13週	リメイクによる帽子制作②	復習:作品制作、縫製など	
14週	リメイクによる帽子制作③	復習:作品制作、縫製など	
15週	リメイク ふくのおプロジェクトに向けたリメイク作品研究	復習:リサーチとまとめ	

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

・学習態度(出席状況を含む)、授業ノート等を総合的に評価する。

・課題への取り組み、完成度、提出物の遅滞状況を総合的に評価する。

◆教科書

ドレメ式原型、PATTERN MAKING I, II、SEWING I, II、基礎テキスト

◆オフィスアワー

神崎…毎週:水曜日 15時30分～16時30分 本校舎2階 1021教室

木村…毎週:月・木・金曜日 16時～17時 本校舎2階 1025教室

◆参考文献

ファッションビジネス用語辞典、WWD、ファッション雑誌など

◆備考

授業内容は変更することもある。

服装史

小寺 和果

服飾造形科1年/ファッションビジネス科1年/アパレル技術科1年/高度アパレル専門科1年 年間8回 必修 (講義)

◆授業の方針・概要

私たちの身の回りのファッションは、長い歴史の積み重ねの上に成り立っています。

近年 Y2K ファッションがリバイバルしたように、常に歴史に大きく影響されながら発展を遂げるのです。

本授業では古代から現代までの服装の変遷について西洋を中心に概説し、服を取りまく人々の文化にも着目します。

多くの図像資料を鑑賞しながら、歴史上の様々な服装がなぜ生まれ、どのように変化したのか、背景にはどのような美意識・ルール・社会情勢があったのか、など考えながら学んでいきましょう。

配布するノート用プリントに授業内容のメモに加えて自身の考えを書き込み、毎授業終了時に提出することを課題とします。

◆到達目標 (学修成果)

各時代のファッションとその意味、現代までの変遷を理解することで、2020年代現在のファッションがいかなるものであるかや今後の動向を掴むために必要な考え方を養います。また、製作や企画などファッションに関わるあらゆる場面において、歴史からアイデアのヒントを得ることができるようになります。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

1年生の必修科目です。今後展開される発展的な学びの下地となる基礎知識を身につけます。

服そのものを見るだけに留まらず、幅広い視野をもって学習することが重要です。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	イントロダクション、古代の服飾 エジプト、ギリシャ、ローマ	プリントの確認 (紹介文献を読む)	30分
2回	中世の服飾 (14-16世紀) 色彩表現の変化、誇張と変形	プリントの確認 (紹介文献を読む)	30分
3回	17-18世紀の服飾 (バロック、ロココ) フランスの宮廷服	プリントの確認 (紹介文献を読む)	30分
4回	19世紀の服飾 (ロマン主義、アール・ヌーヴォー) 男女の対照性、モード産業の確立	プリントの確認 (紹介文献を読む)	30分
5回	現代服への移行 (20世紀前半) ポール・ポワレ、ココ・シャネル、エルザ・スカパレリ	プリントの確認 (紹介文献を読む)	30分
6回	戦後のモード クリスチャン・ディオール、イヴ・サンローラン、マリー・クワント	プリントの確認 (紹介文献を読む)	30分
7回	ファッションの多様化 ジャン＝ポール・ゴルチエ、川久保玲、ヴィヴィアン・ウエストウッド	プリントの確認 (紹介文献を読む)	30分
8回	現代のファッション	プリントの確認 (紹介文献を読む)	30分

◆フィードバックの方法

毎回の授業で記入・提出するノート用プリントについては、適宜評価をつけて返却します。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

◆教科書

特になし (配布プリントあり)

◆参考文献

DK社『FASHION 世界服飾大図鑑』河出書房新社、2020

深井晃子『一増補新装カラー版—世界服飾史』美術出版社、2020 など

その他の文献に関しても、必要に応じて授業内で紹介します。

◆オフィスアワー

連絡先：教務課 (本校舎1階)

授業終了後、質問など対応いたします。

◆備考

授業進度によって内容を変更する場合があります。

ファッション画Ⅰ / ファッション画

福地 宏子

服飾造形科1年 / ファッションビジネス科1年 通年 必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

ファッションイメージを的確に表現し伝達するために、人体のプロポーション・服の構造・生地や素材・服の型のみを描く平絵の表現を学び、人体と服についての理解を深める。

◆到達目標 (学修成果)

- ・基本のプロポーション (8頭身) にそって衣服を的確に描くことができる。
- ・服の構造、ディテール、素材表現等を修得できる。
- ・平絵を修得できる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

終了要件として必要な科目となり、服飾造形の基礎力の向上に資する科目。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	・教材、授業計画の確認 【人体のプロポーション①】	予習：各自教材の準備	10分
2回	【人体のプロポーション②】 8頭身の人体プロポーション	復習：プロポーションの反復練習	60分
3回	【ポーズのバリエーション】 重心移動のポーズ	復習：プロポーションの反復練習	60分
4回	【顔のプロポーション】 基本のパーツの配置	復習：プロポーションの反復練習	60分
5回	【ヘアスタイル】 着色表現も含む	予習：ヘアスタイルリサーチ	60分
6回	【平絵①】 スカート (タイト・フレアー・ギャザー・プリーツ)	復習：反復練習	60分
7回	【平絵②】 シャツ	復習：反復練習	60分
8回	【シャツ&スカートの着装①】 人体への着装について	予習：デザインリサーチ、資料収集	60分
9回	【シャツ&スカートの着装②】 平絵も含む	復習：作業確認、反復練習	60分
10回	【シャツ&スカートの着装③】	復習：作業確認、反復練習	60分
11回	【ディテール】 衿・ネックライン・袖 等の種類について	復習：反復練習	60分
12回	【ワンピースの着装①】 デテール表現・平絵も含む	予習：デザインリサーチ、資料収集	60分
13回	【ワンピースの着装②】	復習：作業確認、反復練習	60分
14回	【ワンピースの着装③】	復習：作業確認、反復練習	60分
15回	【柄と素材について①】 画材を生かした表現法	復習：反復練習	60分
16回	【柄と素材について②】	復習：反復練習	60分
17回	【テーラードジャケットの着装①】 構造・描写の説明、平絵も含む	予習：デザインリサーチ、資料収集	60分
18回	【テーラードジャケットの着装②】	復習：反復練習	60分
19回	【テーラードジャケットの着装③】	復習：作業確認、反復練習	60分
20回	【コートの着装①】 生地の表現・平絵も含む	予習：デザインリサーチ、資料収集	60分
21回	【コートの着装②】	復習：作業確認、反復練習	60分
22回	【コートの着装③】	復習：作業確認、反復練習	60分
23回	【メンズファッション①】 プロポーションと着装について	予習：デザインリサーチ、資料収集	60分
24回	【メンズファッション②】	復習：作業確認、反復練習	60分
25回	【子供服①】 プロポーションと着装について	予習：デザインリサーチ、資料収集	60分
26回	【子供服②】	復習：作業確認、反復練習	60分
27回	【シーンに合わせたファッション提案①】	予習：課題進行の準備、資料収集	60分
28回	【シーンに合わせたファッション提案②】	予習：課題進行の準備	60分
29回	【シーンに合わせたファッション提案③】	復習：提案内容を振り返る	60分
30回	・まとめ、合評会	復習：課題を振り返る	60分

◆フィードバックの方法

各課題にはコメントやアドバイスを記入し、返却後に振り返りができるようにする。または直接コメントを伝える。課題によっては、クラスメイトの課題を観覧する時間を設けて、意見交換やアドバイスを行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

◆教科書

ファッション画法

◆参考文献

必要に応じて適宜紹介する

◆オフィスアワー

第1回目の授業時に指示する

◆備考

進捗により授業計画が変更になる場合もある

アパレル素材論／アパレル素材論Ⅰ

赤澤 結花

服飾造形科1年／ファッションビジネス科1年／アパレル技術科1年／高度アパレル専門科1年 通年 必修（講義）

◆授業の方針・概要

天然繊維を中心に繊維が糸になり、布になっていくプロセスとベーシックなファブリックの知識を学ぶ。アパレル業界で働く上で必須とされる素材に関する知識は、興味を持ってこそ身につくという考えの下、特に「見ること」と「触れること」に重点を置いた授業内容になっている。繊維サンプルを配布し、その素材に触れながら構造や特徴を学ぶ。そしてその繊維と人の歴史的背景を紐解き、その繊維に関連したビデオを見ることで、より具体的な知識を深める。また、テキスタイルファブリックについてはスワッチサンプルを手に、その布としての特徴や組成、組織について学んでいく。更に時代のニーズとともに新しく開発されていく素材の動向の情報も織り交ぜる。

◆到達目標（学修成果）

アパレル素材の基本的な知識を身につける。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。アパレル業界のどの職種においても必要となるスキルを養うことに繋がる。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション	復習：ノートを見直す	10
2回	繊維の分類	予習：教科書の分類表を見る	10
3回	綿の歴史	復習：ノートを見直す	10
4回	綿繊維の構造と特徴	復習：ノートを見直す	10
5回	「コットンの神秘」(ビデオ)、綿の種類	復習：ノートを見直す	10
6回	紡績工程	復習：ノートを見直す	10
7回	糸について	復習：ノートを見直す	10
8回	生地について スワッチの配布	復習：スワッチの確認をする	10
9回	生地の説明	復習：テキストの説明を読む	5
10回	〃	復習：テキストの説明を読む	5
11回	麻の繊維(ラミーとリネン)	復習：ノートを見直す	10
12回	全体の復習	復習：ノートを見直す	10
13回	まとめ	予習：今までの復習をしておく	15
14回	羊毛の歴史	復習：ノートを見直す	10
15回	羊毛繊維の構造と特徴	復習：ノートを見直す	10
16回	「ウールの長い旅」(ビデオ)、梳毛と紡毛について	復習：ノートを見直す	10
17回	生地について スワッチの配布	復習：スワッチの確認をする	10
18回	生地の説明	復習：テキストの説明を読む	10
19回	〃	復習：テキストの説明を読む	10
20回	その他の獣毛繊維	復習：テキストの説明を読む	10
21回	〃	復習：ノートを見直す	10
22回	フェルトの実習(3回通し)	復習：フェルト玉等を作ってみる	30
23回			
24回			
25回	絹の歴史	復習：ノートを見直す	10
26回	絹繊維の構造と特徴 糸について	復習：ノートを見直す	10
27回	生地について スワッチの配布	復習：スワッチの確認をする	10
28回	生地の説明	復習：テキストの説明を読む	5
29回	全体の復習	復習：ノートを見直す	10
30回	まとめ	予習：指定のスワッチを覚える	30

◆フィードバックの方法

筆記テスト終了後、内容の解説をする。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	70%
課題	—
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

◆教科書

アパレル素材の基本 鈴木美和子・窪田英男・徳武正人著 織研新聞社

◆参考文献

テキスタイル用語辞典 成田典子著 (株)テキスタイル・ツリー

◆オフィスアワー

毎週：月曜日(16時00分～17時00分)5201教室(第5校舎2階)

◆備考

授業内容は変更することもある。

色彩論／色彩論Ⅰ

桑野 恵美

服飾造形科1年／ファッションビジネス科1年／アパレル技術科1年／高度アパレル専門科1年 年間8回 必修（講義）

◆授業の方針・概要

仕事で「色」を活かすために重要となる「色を見分ける力」「配色力」「色の説明力」を養うための色の基本を理解する。本授業ではファッション色彩能力検定3級受験を前提とし、教科書である『ファッション色彩Ⅰ』に沿って授業を進める。講義の他、実際に配色カードを使用してカラーワークも行い、色感アップと色の基本知識の習得を目指す。

◆到達目標（学修成果）

ファッション色彩能力検定試験3級合格。
身の周りにあるたくさんの色の効果を学び、実感することで、個々の活動の中で、感性だけに頼らない色の使い方を知る。また2年次以降に取得を目差す『ファッション色彩能力検定試験2級』に向けた色彩基礎力を築く。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

必修科目であり、進級要件である。服飾に関わる様々な分野（造形・デザイン・ビジネス等）において、目的や状況に応じた“色”を提案するための基礎を習得する。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	ガイダンス/概論（生活の中における色彩の働き） 色の三属性	復習：問題集の該当箇所の学習。 ツールの作成（カラーワーク）	90分
2回	色相環・トーン一覧表作成 ヒュー&トーン	復習：問題集の該当箇所の学習。	90分
3回	色の成り立ち/光と色 配色①(色相配色)	復習：問題集の該当箇所の学習。	90分
4回	混色/色覚と色 配色②（トーン配色）	復習：問題集の該当箇所の学習。	90分
5回	色彩心理（対比/同化）グラデーション	復習：問題集の該当箇所の学習。	90分
6回	色彩の技術 アクセントセパレーション （色相とトーン、無彩色と柄・無地の配色、色彩構成のテクニック）	復習：問題集の該当箇所の学習。	90分
7回	ファッション産業と色彩	復習：問題集の該当箇所の学習。過去問題を解く。	180分
8回	過去問題のフィードバック/総復習	総復習	90分

◆フィードバックの方法

過去問題はポイント箇所を中心に解説を行います。問題集は、必要であれば解説を行います。全体に向けての講評と必要な場合、カラーワークの課題にコメントを入れて返却します。（提出課題のみ）

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	30%
検定試験結果	40%
企業評価(インターシップ)	—

◆教科書

ファッション色彩 [1] 財団法人 日本ファッション教育振興協会発行
ファッション色彩能力検定試験3級問題集 財団法人 日本ファッション教育振興協会発行
その他：日本色研 JIS 対応ベーシックカラー140 B 6（配色カード）

◆参考文献：適宜アナウンスします。

◆オフィスアワー：授業初回にアナウンスします

◆備考：教科書、問題集、配色カード、はさみ、のりは毎回、準備してください。 各回の授業の順番・内容は変更になる場合があります。

クリエイティブデザインI / クリエイティブデザイン

赤川 順子

服飾造形科1年 / ファッションビジネス科1年 年間10回 必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

ファッションデザイナー、ディレクターとしての企業実務経験者による授業。ファッションデザインの考案をするために必要となる基礎的要綱を講義と実習を通し学ぶ。実習で手掛けた課題はポートフォリオとして綴り自らの記録として残せるようにする。

◆到達目標 (学修成果)

アイディアリソースの捉え方と展開方法を知り、デザインプロセスを推し進める基礎的な力を身につける。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

修了のために必要とする科目。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	アイディアソースとファッションデザインの関係について	予習: マーケット等のリサーチ	45
2回	コンセプトとテーマの関係について	予習: 図書館など資料閲覧	30
3回	提案の背景を意識することについて、カモフラージュ柄の作成	予習: コレクションリサーチ	30
4回	デザインバリエーション展開 (スカート)	予習: リサーチ・雑誌閲覧	30
5回	デザインバリエーション展開 (ブラウス)	予習: リサーチ・雑誌閲覧	30
6回	デザインバリエーション展開 (パンツ)	予習: リサーチ・雑誌閲覧	30
7回	デザインバリエーション展開 (コレクション情報を元に)	復習: デザイン考案	30
8回	デザインバリエーション展開、全体の資料まとめ	予習: 作品の写真を撮影しておく	30
9回	構造線をデザインに展開 (ワンピース)	復習: ポートフォリオ作成準備	30
10回	作品レポート (ポートフォリオ) の発表 / 講評	復習: 振り返り	30

◆フィードバックの方法

作成物に対してのアドバイスはその都度行う。
ポートフォリオについては講評を行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	
課題	70%
検定試験結果	
企業計画 (インターシップ)	

◆教科書

なし

◆参考文献

なし

◆オフィスアワー

授業終了後、質問等対応する。

◆備考

日程、内容を変更する場合がある。
作成物のテーマは服飾造形科、ファッションビジネス科で異なることがある。

キャリアプライニング

森本 真由美

ファッションビジネス科1年 後期 必修 (演習/実習・実技)

◆授業の方針・概要

授業担当者のファッション・ビジネス等のコンサルティング及びキャリアコンサルタント（国家資格）としての実務経験を活かし、ファッション・ビジネスにおけるキャリアデザインの情報提供を行う。ワーク・キャリアを中核にしながらも、それを包含するライフ・キャリアの全体像を描きながら、自分自身の将来のキャリア全体を検討したい。自己理解の深化を図り、職業適性を吟味し、自己の将来のキャリア計画に照らして、選択した専門分野の理解とそれに向けての必要な学びなど、学生生活の目標を明確にする。自己と将来の職業キャリアとの関係について洞察を深めながら、具体的な就職活動の準備を理解する。

◆到達目標（学修成果）

1. 就職活動に必要なマナー、基礎力など実践的スキルを獲得する。
2. 自己理解から進路の方法、さらにミスマッチの原因と対処法を修得する。
3. 就職活動に向かう意欲を高め、心身のコントロール法を獲得する。
4. 国内外の経済事情や社会を把握しながら、業界研究の方法を修得する。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

授業を通して、自己と将来の職業キャリアの展望を2年次の学びに繋げていく。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション 授業の目的と流れの理解	復習：キャリアの理解	15
2回	自分らしさとは何か①心理学からみた、自分らしさを知ること	復習：自己理解の振り返り	15
3回	自分らしさとは何か②キャリアデザイン学からみた、自分の特性	復習：自己理解の振り返り	15
4回	自分らしさとは何か③自己理解ワーク	復習：自己理解の振り返り	15
5回	自分らしさとは何か④自己理解ワーク	復習：自己理解の振り返り	15
6回	他者との関わり方①コミュニケーション力	復習：他者理解の振り返り	15
7回	他者との関わり方②ビジネスマナー・コンプライアンス	復習：ビジネスマナー理解	15
8回	社会を知る①世界を多角的にみる、業界研究の目的と方法	復習：業界研究の理解	15
9回	社会を知る②企業人のキャリア形成	復習：キャリア形成の理解	15
10回	自分の価値観に即した仕事・企業の選定	復習：情報リテラシー理解	15
11回	業界・企業研究①	予習：指定した業界の確認	30
12回	業界・企業研究②	予習：指定した業界の確認	30
13回	業界・企業研究③	予習：指定した業界の確認	30
14回	企業研究発表①（各自が興味を持った企業のビジネスモデル研究）	予習：発表準備	90
15回	企業研究発表②（各自が興味を持った企業のビジネスモデル研究）	予習：発表準備	90

◆フィードバックの方法

課題に対しては授業時間内でのアドバイスや提出物返却時にコメントにてフィードバックする。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	70%
試験	—
課題（プレゼンテーション含む）	30%
検定試験結果	—
企業評価（インターシップ）	—

◆教科書

授業内でプリントを配布。課題・テーマに合わせてDVD視聴。

◆参考文献

課題ごとに参考資料を紹介する。

◆オフィスアワー

授業終了後、質問などに対応。

◆備考

授業の進捗や受講生の関心・理解度に合わせて、授業内容を変更することもある。

リテールプランニング I

木村 千晶

ファッションビジネス科 1年 後期 必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

産学連携授業として、2年生と合同授業で行う衣服のリユース古着屋運営を実施する。リサーチやプランニングを円滑に推進するために、情報収集と分析・活用の具体的方法を実習を繰り返しながら身につけていく。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

2年生との合同授業から、また産学連携授業としてのプロジェクトから得る経験を習得する。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	産学連携授業について	復習：各自の役割確認	10分
2回	産学連携ふくのおプロジェクト古着屋プロモーションプラン戦略		
3回	産学連携ふくのおプロジェクト古着屋準備		
4回	産学連携ふくのおプロジェクト古着屋準備		
5回	産学連携ふくのおプロジェクト古着屋準備		
6回	産学連携ふくのおプロジェクト古着屋整理・反省		
7回	産学連携 OPA 古着屋プロモーションプラン戦略		
8回	産学連携 OPA 古着屋準備		
9回	産学連携 OPA 古着屋準備		
10回	産学連携 OPA 古着屋準備		
11回	産学連携 OPA 古着屋準備		
12回	産学連携 OPA 古着屋準備		
13回	産学連携 OPA 古着屋整理・反省		
14回	コンセプトと顧客コミュニケーションのバリエーションの考え方		
15回	年間のまとめと反省・発表		

◆フィードバックの方法

提出物の評価と発表に対する講評。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

◆教科書

必要に応じてプリント配布

◆参考文献

必要に応じて資料配布

◆オフィスアワー

必要に応じて授業終了後対応

◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

メディアプランニング I

木村 千晶

ファッションビジネス科1年 後期 必修(演習)

◆授業の方針・概要

デザインの基礎となる知識や考え方の習得を目指す。さまざまなアプリケーションやWEBメディアなどからデザイントレンドを学び、ビジュアル表現のストックを増やしていく。また写真演習によりいろいろな撮影を体験する。その後は実際にパソコンを使ってイメージを表現し、相手に伝えることができるように、Illustrator と Photoshop を使いながら、イメージの作り方やビジュアル表現の基礎を学んでいく。

◆到達目標(学修成果)

デザインの良し悪しを判断するための基礎力と、様々なアプリケーションやWEBメディアなどからデザイントレンドを学び、Illustrator・Photoshop でイメージ表現するための基礎力をつけることを目標とする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。ファッションビジネスには欠かせない科目である。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション・授業内容の説明	復習：基礎学習の確認	10分
2回	文字とデザイン	復習：	10分
3回	ゲスト講師による講義：ファッションWEBメディアについて	復習：WEBリサーチ	10分
4回	課題制作1	予習：材料の準備	10分
5回	課題制作1	予習：材料の準備	10分
6回	課題制作1	予習：材料の準備	10分
7回	ゲスト講師による講評・講義	各自テーマに応じたリサーチ、プランを自律的に行っていく。(都度指導の上)	各自による
8回	課題制作2		
9回	課題制作2		
10回	課題制作2		
11回	ゲスト講師による講評・講義		
12回	課題制作3		
13回	課題制作3		
14回	課題制作3		
15回	ゲスト講師による講評・講義		

◆フィードバックの方法

課題ごとに評価・採点し、授業内で講評、返却する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

◆教科書

必要に応じて資料配布

◆参考文献

各種ファッション雑誌など

◆オフィスアワー

必要に応じて授業終了後対応

◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

エディトリアルワーク I

木村 千晶

ファッションビジネス科1年 通年 必修(演習)

◆授業の方針・概要

ファッションビジネス科では、販売はもとよりマーチャンダイザー、バイヤー、プレス、オンライン運営など様々な職種にステップアップできるように学んでいくが、アパレルの商品流通や販売の視点だけでなく、他業界にも目を向け幅広い知識やスキルを習得する必要がある。この授業では、ファッションをテーマにしなが、情報を集めるリサーチ力、それをまとめる分析・整理能力、人に提案する表現力などをレベルアップさせる。もちろんパソコンスキルも磨いていけるよう課題制作に取り組む。

◆到達目標(学修成果)

人とモノと情報を編集していくエディット能力を高めることで、どんな職種にでもステップアップできる力を身につけることを目標とする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。ファッションビジネスを理解するために身につけていきたい根本的な能力を培う科目である。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション・エディトリアルワークとは	復習:授業内容まとめ	10分
2回	編集(読む・書く)トレーニング1	復習:授業内容まとめ	10分
3回	編集(読む・書く)トレーニング2	復習:授業内容まとめ	10分
4回	名刺作成	復習:授業内容まとめ	10分
5回	写真演習1	予習:資料収集	10分
6回	写真演習2	予習:資料収集	10分
7回	写真演習3		
8回	フィールドリサーチ&まとめ1		
9回	フィールドリサーチ&まとめ2		
10回	グループワーク ジャーナル作成1:計画		
11回	グループワーク ジャーナル作成2:取材/撮影		
12回	販促物について(パンフ・カタログ・DM・ポスターなど)		
13回	印刷物データ作成について		
14回	ポスター制作1		
15回	ポスター制作2		
16回	グループワーク ジャーナル作成4:画像処理		
17回	グループワーク ジャーナル作成5:文字起こし		
18回	グループワーク ジャーナル作成6:まとめ		
19回	産学連携ポップアップ販促物等企画制作1		
20回	産学連携ポップアップ販促物等企画制作2		
21回	産学連携ポップアップ販促物等企画制作3		
22回	産学連携ポップアップ販促物等企画制作4		
23回	産学連携ポップアップ販促物等企画制作5		
24回	修了作品ブック作成1		
25回	修了作品ブック作成2		
26回	修了作品ブック作成3		
27回	修了作品ブック作成4		
28回	修了作品ブック作成5		
29回	修了作品ブック作成6/まとめ・印刷		
30回	年間の授業内容まとめ・データ整理		

各自テーマに応じたリサーチ、プランを自律的に行っていく。(都度指導の上)

各自による

◆フィードバックの方法

課題ごとに評価・採点し、授業内で講評、返却する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

◆教科書

特になし 必要に応じてプリント配布

◆参考文献

織研新聞、WWD、各種ファッション雑誌など

◆オフィスアワー

必要に応じて授業終了後対応

◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

マーケットリサーチ

福田 宜央

服飾造形科1年/ファッションビジネス科1年 前期10回 必修(演習)

◆授業の方針・概要

(株)サンエー・インターナショナル(現(株)TSI)でのマーチャンダイザーや海外事業運営の経験を基に、アパレル企業で行われる商品計画立案時に必要となるマーケットリサーチ(市場調査)の基礎知識を習得する授業とする。造形授業の課題制作前に実際に店頭リサーチを行い、マーケットのトレンドも確認しながら、実習を交えてリサーチを活用する方法を学ぶ。

◆到達目標(学修成果)

授業を通して実際に販売されているアパレル商品をリサーチすることで、そのシーズンのトレンドを分析できるようになる。また、調査結果を考察してレポートにまとめ、概要の発表を対外的に行う伝達手段の基礎力の体得を目標とする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目となる。また、後期に履修するプレゼンテーションの授業のデータ収集と関連付ける。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション/アイテムリサーチについて①[スカート]/リサーチ実施	復習:授業のまとめ	10分
2回	アイテムリサーチ①[スカート] レポートのまとめと発表	復習:前回授業概要	10分
3回	アイテムリサーチについて②[ブラウス]/リサーチ実施	復習:前回授業概要	10分
4回	アイテムリサーチ②[ブラウス] レポートのまとめと発表	復習:前回授業概要	10分
5回	アイテムリサーチについて③[パンツ]/リサーチ実施	復習:前回授業概要	10分
6回	アイテムリサーチ③[パンツ] レポートのまとめと発表	復習:前回授業概要	10分
7回	ショップリサーチについて/リサーチ実施	復習:前回授業概要	10分
8回	ショップリサーチ レポートのまとめと発表	復習:前回授業概要	10分
9回	業態別アパレルショップのリサーチについて/リサーチ実施	復習:前回授業概要	10分
10回	業態別アパレルショップの比較 レポートのまとめと発表/総括	復習:前回授業概要	10分

◆フィードバック方法

レポートの発表後や返却時など、内容に応じ要点を踏まえてコメントにてフィードバックを行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題(レポート・発表含む)	70%
検定試験結果	—
企業計画(インターシップ)	—

◆教科書

なし。
授業毎に応じたプリント等を配布。

◆参考文献

なし。

◆オフィスアワー

授業終了後、質問等に対応する。

◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

ファッションビジネス概論

福田 宜央

服飾造形科1年/ファッションビジネス科1年/アパレル技術科1年/高度アパレル専門科1年 年間10回 必修(講義)

◆授業の方針・概要

(株)サンエー・インターナショナル(現(株)TSI)でのマーチャンダイザーや海外事業運営の経験を基に、アパレル企業で行われる業務事例を踏まえながら概況を解説し、商品計画立案から販売までのマーチャンダイジングをどのように行うか、ブランドビジネスの運営方法や基本的なビジネス数字について学び、ファッションビジネスの基礎知識を修得する授業とする。

◆到達目標(学修成果)

授業を通してファッションビジネスの全体像や流れ、基礎的な専門用語や商品展開の仕組みの大枠について理解する事を目標とする。実際に販売されているアパレル商品は、どのようにして計画され、どのような過程を経て展開されているか、商品展開方法やブランド運営の知識が修得できる。また、将来就業時に必要となるビジネスに関する数字やデータ項目の基本を学習した上で、仕入から販売、利益の関係に至るまで、ビジネスに必須な基礎知識として理解できるようになる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目となる。将来ファッションビジネスに関わる就業を目標に、2年次に進級してより高度な専門性を学ぶために必要なアパレル業界の基礎用語や仕組みについて、1年次に基本的な専門知識を理解・修得して基礎力をつける。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	・ファッションビジネスの仕組み	復習:授業のまとめ	10分
2回	・商品展開のプロセス	復習:前回授業概要	10分
3回	・シーズンの設定と運営の事例、振り返りチェック(Part I)	復習:前回授業概要	10分
4回	・ビジネスに必要な分析項目	復習:前回授業概要	10分
5回	・販売計画から利益まで	復習:前回授業概要	10分
6回	・ファッションビジネスの予算と支出、振り返りチェック(Part II)	復習:前回授業概要	10分
7回	・ブランド運営について	復習:前回授業概要	10分
8回	・MDプランから商品化に至るまで	復習:前回授業概要	10分
9回	・計画と実績の確認、振り返りチェック(Part III)	復習:前回授業概要	10分
10回	・年次振り返り、総まとめ		

◆フィードバックの方法

Part I、II、IIIのテーマ終わりの授業毎に実施する振り返りチェックの解説を次回授業で行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%	
試験	20%	年度末最終授業にて総まとめテストを実施
課題	60%	理解度確認:振り返りチェックシート提出(3回)
検定試験結果	—	
企業評価(インターシップ)	—	

◆教科書

なし。
授業毎に応じたプリントを配布。

◆参考文献

なし。

◆オフィスアワー

授業終了後、質問等に対応する。

◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

スタイリング演習

木村 千晶

ファッションビジネス科1年 後期 必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要。

スタイリストに限らずファッション業界の仕事は、商品企画をわかりやすく伝達していくために、あらゆる視点からの洞察力やプレゼンテーション能力が必要となります。市場調査をはじめトレンドを理解しながら、マップづくりやスタイリング提案など各自の完成を表現する実習を中心に、幅広い知識や経験を得られるよう、現場で活躍するスタイリストを講師に迎えながら、スタイリスト・カメラマン・編集などの仕事も学習、体験していきます。

◆到達目標 (学修成果)

スタイリングの基本となる、シルエット、テイスト、サイズ感、素材、色の影響化における印象の理解と習得を目指す。TPOをわきまえたスタイリングイメージを構築し、ロジカルにプレゼンができるようにする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。アパレル業界に携わることに於いて、スタイリングイメージの構築と分類、簡潔でロジカルな提案は即業界で役立つ知識と経験として重要である。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション 他己紹介	復習：授業内容まとめ	20分
2回	2024-25 秋冬トレンド研究	復習：授業内容まとめ	20分
3回	印象分析とシルエットについて	復習：授業内容まとめ	20分
4回	シルエットの分析と分類について	復習：授業内容まとめ	20分
5回	市場調査 STREET SNAP	復習：授業内容まとめ	20分
6回	STREET SNAP まとめ	予習：資料収集	20分
7回	テーマAによるスタイリング/撮影	予習：資料収集	20分
8回	テーマAマップ作成	復習：授業内容まとめ	20分
9回	スタイリストによる講義①	予習：資料収集	20分
10回	テーマBによるスタイリング/撮影	予習：資料収集	20分
11回	テーマBマップ作成	復習：授業内容まとめ	20分
12回	スタイリストによる講義②	復習：授業内容まとめ	20分
13回	テーマCによるスタイリング/撮影	復習：授業内容まとめ	20分
14回	テーマCマップ作成	復習：授業内容まとめ	20分
15回	まとめ・プレゼンテーション	予習：資料収集	20分

◆フィードバックの方法

授業内で不明点がある場合、その場で個人指導を行う。作品は個別講評・採点后に返却する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

・学習態度(出席状況を含む)、授業ノート等を総合的に評価する。

・課題への取り組み、完成度、提出物の遅滞状況を総合的に評価する。

◆教科書

特になし

◆参考文献

WWD、各種ファッション雑誌 など

◆オフィスアワー

毎週水・金曜日 16:00～17:00 1025 教室

◆備考

授業内容は進行状況により変更することもある。

プレゼンテーションⅠ／プレゼンテーション

福田 宜央

服飾造形科1年／ファッションビジネス科1年 後期8回 必修（演習）

◆授業の方針・概要

㈱サンエー・インターナショナル（現 ㈱T S I）でのマーチャンダイザーや海外事業運営の実務経験を活かして、アパレル企業が業務で行うレポートや資料の作成、それを伝達するプレゼンテーションの方法を解説し、リサーチ情報のまとめから対外的にプレゼンテーションを実際に体感して学ぶ演習授業とする。前期の授業で履修するマーケットリサーチのデータや、新たに設定したテーマのリサーチ情報を、パワーポイント（PPT）を使用してレポートに作成、プレゼンテーションを行う。

◆到達目標（学修成果）

リサーチした情報を分析・考察して伝達したいポイントをレポートにまとめていくスキルと、対外的に発表を行うことでプレゼンテーションの基礎力を体得することを目標とする。レポート作成時にはPPTの基礎的な機能や操作方法を理解して、要点をまとめた簡易な資料作成もできるようになる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目となる。また、卒業後の就業に関わる面接時や、就業してからの資料作成や報告など、今後必要となる表現手段の基礎力を身に付ける。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション・ガイダンス／プレゼンテーションの事例確認	復習：授業のまとめ	10分
2回	アイテムリサーチと課題制作のレポート①（PPT実習：レポート作成）	復習：前回授業概要	10分
3回	アイテムリサーチと課題制作のレポート②（プレゼンテーション）	復習：前回授業概要	10分
4回	ブランドリサーチ①（ショッピングリサーチ実施）	復習：前回授業概要	10分
5回	ブランドリサーチ②（PPT実習：レポート作成）	復習：前回授業概要	10分
6回	ブランドリサーチ③（プレゼンテーション）	復習：前回授業概要	10分
7回	グループワーク①（ディスカッション、PPT実習：レポート作成）	復習：前回授業概要	10分
8回	グループワーク②（プレゼンテーション）／総括	復習：前回授業概要	10分

◆フィードバック方法

プレゼンテーション発表後やレポート返却時など、内容に応じ要点を踏まえてコメントにてフィードバックを行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題（レポート・発表含む）	70%
検定試験結果	—
企業計画（インターシップ）	—

◆教科書

なし。
授業毎に応じたプリント等を配布。

◆参考文献

なし。

◆オフィスアワー

授業終了後、質問等に対応する。

◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

アパレルCG I

地代 紀子

服飾造形科1年/ファッションビジネス科1年 通年20回 必修 (演習)

◆授業の方針・概要

グラフィックデザイナーとして、多種の印刷物やウェブ制作等の実務経験を活かし、実践で役立つ大事なポイントを押さえ、やさしい操作から徐々にステップアップする流れとなっている。
ファッション業界の現場はもちろんのこと、様々な業務で一般的に使われているグラフィックソフト、Illustrator・Photoshopを使い、目的に応じたイメージを、的確で洗練されたデザインとして表現できる技術の基礎を学ぶ。

◆到達目標 (学修成果)

Illustrator・Photoshopの基本操作と相互の活用を覚え、一つのデザインとして完成させる力をつける。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

必修科目のため、1年次修了に必要な科目。

Illustrator・Photoshopを効果的に使い、業務をスムーズに進めるためのスキルが身につく。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション Illustrator 基本操作 色々な図形を描く	予習:教科書を確認	15
2回	Illustrator 基本操作 ペンツールでシンプルなイラストを描く	予習:教科書を確認	15
3回	〃 ハンガーイラスト(平絵)①/スカート	予習:教科書を確認	15
4回	Photoshop 写真と画像(解像度・保存形式)基本操作	予習:教科書を確認	15
5回	〃 画像の補正 色調補正 調整レイヤー	予習:教科書を確認	15
6回	〃 レタッチ マスク(切抜き) Illustrator 写真の配置・マスク	予習:教科書を確認	15
7回	Illustrator グラデーション カラーの操作 文字の操作	予習:教科書を確認	15
8回	ペンタブの操作 各種ブラシで自由にドローイング	予習:教科書を確認	15
9回	Tシャツデザイン①/資料集め デザインを考案・作成	復習:データ整理・確認	15
10回	〃 ②/デザイン作成 まとめ ★提出	復習:データ整理・確認	15
11回	Illustrator ペンツール ハンガーイラスト(平絵)②/シャツ	予習・復習:教科書を確認	15
12回	〃 文字を活用したグラフィック ロゴ 名刺の作成	予習・復習:教科書を確認	15
13回	Photoshop 選択範囲とマスク(切抜き)	予習・復習:教科書を確認	15
14回	〃 ポートレート・風景の加工テクニック	予習・復習:教科書を確認	15
15回	Photoshop 文字と画像でYouTubeサムネールを作成 ★提出	予習・復習:教科書を確認	15
16回	グリーティングカード①/デザインを考案・作成	復習:データ整理・確認	15
17回	〃 ②/まとめ ★提出	復習:データ整理・確認	15
18回	イメージボード①/資料集め デザイン・コンセプトを考案	復習:データ整理・確認	15
19回	〃 ②/各素材の作成・加工 レイアウト	復習:データ整理・確認	15
20回	〃 ③/レイアウト まとめ ★提出	復習:データ整理・確認	15

◆フィードバックの方法

授業内での質問に随時対応する。

作品は個別に講評し、フィードバックする。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	-
課題	70%
検定試験結果	-
企業計画(インターシップ)	-

授業態度、提出物の遅滞、作品完成度等を総合的に評価する。

◆教科書

Photoshop よくばり入門、Illustrator よくばり入門

◆参考文献

なし

◆オフィスアワー

授業終了後、質問等に対応する。

◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

コミュニケーションスキル／コミュニケーションスキルⅠ

野本 睦美

服飾造形科1年／ファッションビジネス科1年 前期10回 必修（演習）

◆授業の方針・概要

「コミュニケーションのとり方」「社会人としてのマナー」「販売の基本、流れ」等、これからの社会、販売員に必要なスキルとなりたい自分へ自ら形成する力を身につけることを目指す。

◆到達目標（学修成果）

ショップの販売員の現状を知り、これから求められる人材としてのスキルを身につけることを目標とする。授業担当者の販売のプロとしての実務経験を活かし、社会で必要とされる基本知識や実践的な接客方法を習得することを目指す。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

修了のために必要な科目。将来の就職に向けて仕事を理解し実践できるようにする。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	コミュニケーション 1 自己紹介、自己PR	復習：講義内容の確認	10分
2回	コミュニケーション 2 第一印象	復習：講義内容の確認	10分
3回	コミュニケーション 3 笑顔と挨拶	復習：講義内容の確認	10分
4回	社会人としてのマナー 1 言葉づかい	復習：講義内容の確認	10分
5回	社会人としてのマナー 2 電話応対	復習：講義内容の確認	10分
6回	社会人としてのマナー 3 勤務態度	復習：講義内容の確認	10分
7回	販売の基本 1 1年の流れ・接客基本用語・購買心理など	復習：講義内容の確認	10分
8回	販売の基本 2 接客基本用語	復習：講義内容の確認	10分
9回	販売の基本 3 購買心理、アフターケア	復習：講義内容の確認	10分
10回	まとめ、自己実現とは になりたい自分になる	復習：講義内容の確認	10分

◆フィードバックの方法

毎回授業終わりに、内容・感想・質問等を記入したルーズリーフを提出してもらい、次の授業始めに返却。個人的内容に関してはコメントを記入し、全体の問題点であれば授業中にフィードバックする。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	40%
課題	30%
検定試験結果	—
企業評価（インターシップ）	—

◆教科書

なし

◆オフィスアワー

授業終了後、質問などに対応する。

◆参考文献

なし

◆備考

授業内容は変更することもある。

販売スキル

野本 睦美

ファッションビジネス科1年 後期 必修 (演習)

◆授業の方針・概要

「社会人としてのマナー」「販売の基本・流れ」「コミュニケーションの取り方」等、これからの販売員に必要なスキルと、なりたい自分へ、自ら形成する力を考え身に付けることを目指す。

◆到達目標 (学修成果)

ショップ販売員の現状を知り、これから求められる人材としてのスキルを身に付けることを目標とする。授業担当者の販売のプロとしての実務経験を活かし、社会で必要とされる基本知識や実践的な接客方法を習得することを目指す。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。ファッションビジネスには欠かせない科目である。

s◆授業計画

回数	授業内容			準備学修	
				具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	販売関連業務1	一日の流れ	販売員の一日	復習：ノート整理	20分
2回	販売関連業務2	一年の流れ	一年を通して商品を考える	復習：ノート整理	20分
3回	販売関連業務3	商品の流れ	デザイナーから消費者へ	復習：ノート整理	20分
4回	販売関連業務4	まとめ		復習：ノート整理	20分
5回	販売関連業務5	会社を作る	予算・売上・商品構成を考える	復習：ノート整理	20分
6回	販売の基本1	接客基本用語	七大用語	復習：ノート整理	20分
7回	販売の基本2	いらっしゃいませの心	意味・タイミングを考える	復習：ノート整理	20分
8回	販売の基本3	購買心理	お客様の心理を考える	復習：ノート整理	20分
9回	販売の基本4	アプローチ	言葉とタイミング	復習：ノート整理	20分
10回	販売の基本5	アフターケア	顧客作り	復習：ノート整理	20分
11回	販売の基本6	クレーム	なぜクレームが起きるのか？	復習：ノート整理	20分
12回	販売の基本7	盗難	起こらないようにするために	復習：ノート整理	20分
13回	販売の基本8	売場の数字1	売り場に必要数字	復習：ノート整理	20分
14回	販売の基本9	これからの販売員	昔から今・未来を考える	復習：ノート整理	20分
15回	自己啓発	なりたい自分	未来を考える	復習：ノート整理	20分

◆フィードバックの方法

毎回授業終わりに、内容・感想・質問等を記入したルーズリーフを提出してもらい、次の授業始めに返却。個人的内容に関してはコメントを記入し、全体の問題点であれば授業中にフィードバックする。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	40%
課題	30%
検定試験結果	—
企業評価 (インターシップ)	—

◆教科書

必要に応じ資料を配布

◆オフィスアワー

授業終了後、質問等に対応する。

◆参考文献

なし

◆備考

授業内容は変更することもある。

特別講義 I

木村 千晶

ファッションビジネス科1年 年間8回 必修 (講義)

◆授業の方針・概要

現場で活躍するスペシャリストの講義など、常に最新の技術や知識を学ぶことを目標とする。
アパレル業界の流れ、ファッションビジネス、クリエイション、テキスタイルなどの基本的なことから始まり、通常授業と連動しながらアパレル企業の現場を実感できる内容である。

◆到達目標 (学修成果)

学内だけでは学べない現状を知り、企業においてのマナーや知識を身につけられる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

必修科目であり、1年次修了に必要な科目。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	WWDトレンドセミナー	先生により各回違う。 準備等ある場合は事前に知らせる。	
2回	副資材について		
3回	知的所有権について		
4回	アパレル業界について		
5回	ウールと環境について		
6回	ウォーキングレッスン		
7回	下着について		
8回	NEWYORK COLLECTION TRENDセミナー		

◆フィードバックの方法

各講義のレポート等は、担当教員が点検・返却する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

・学習態度(出席状況を含む)、レポート等を総合的に評価する。

◆教科書

必要に応じて資料配布。

◆参考文献

なし。

◆オフィスアワー

授業終了後、質問等に対応。

◆備考

外部講師による授業なので、内容や時間は先生により変更がある。

ファッション実用英語

北澤 茉奈

服飾造形科1年/ファッションビジネス科1年/アパレル技術科1年 前期 選択(講義) / 高度アパレル専門科1年 前期 必修(講義)

◆授業の方針・概要

本コースは、ファッション・デザインを学ぶ学習者のために英語学習内容を服飾分野に定め、服飾分野での英語でのコミュニケーションに役立つように構成されています。ネットニュースなど最新のファッション関連記事を扱い、語学としての英語と、服飾関連の知識の両方にフォーカスします。毎回の授業では、記事の内容把握に関する問題に取り組んでもらいます。また、ファッションに関連する動画の視聴によるリスニング練習、自己紹介発表による英語でのプレゼンテーションの練習も行います。

◆到達目標(学修成果)

ファッションに関する基本的な英単語や用語、ファッションに関する会話のパターンを知り使用できるようになる。英語で書かれた記事の内容を理解し自分の言葉で説明できるようになる。映像と関連させながら聞こえてくる英語の内容を理解できるようになる。以上を目標とします。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

一般科目として、必修2単位(高度アパレル専門科)、または選択2単位(服飾造形科・ファッションビジネス科・アパレル技術科)となっている。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	イントロダクション 課題の詳細説明	予習: シラバスを読む。授業内容について確認する。	20分
2回	自己紹介発表準備 服飾関連記事の読解(1)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: 記事に目を通す。 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
3回	自己紹介発表(1) 服飾関連記事の読解(2)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: クイズ、発表の準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
4回	自己紹介発表(2) 服飾関連記事の読解(3)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: クイズ、発表の準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
5回	自己紹介発表(3) 服飾関連記事の読解(4)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: クイズ、発表の準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
6回	自己紹介発表(4) 服飾関連記事の読解(5)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: クイズ、発表の準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
7回	自己紹介発表(5) 服飾関連記事の読解(6)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: クイズ、発表の準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
8回	自己紹介発表(6) 服飾関連記事の読解(7)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: クイズ、発表の準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
9回	自己紹介発表(7) 服飾関連記事の読解(8)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: クイズ、発表の準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
10回	自己紹介発表(8) 服飾関連記事の読解(9)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: クイズ、発表の準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
11回	自己紹介発表(9) 服飾関連記事の読解(10)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: クイズ、発表の準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
12回	自己紹介発表(10) 服飾関連記事の読解(11)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: クイズ、発表の準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
13回	自己紹介発表(11) 服飾関連記事の読解(12)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: クイズ、発表の準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
14回	まとめ	予習: これまでの授業内容を振り返る。	30分
15回	講評	復習: これまでの授業内容を振り返る。	30分

◆フィードバックの方法

クイズの解答はその場で提出してもらいます。解答は皆で共有し授業内でフィードバックを行います。まとめのテストは採点します。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%	毎回のクイズ、書き取り練習の解答の提出
試験	30%	
課題	40%	プレゼンテーション
検定試験結果	—	
企業評価(インターシップ)	—	

◆教科書

プリントを配布します。

◆参考文献

必要に応じて授業内で配布。

◆オフィスアワー

第1回の授業で指示。オフィスは、杉野服飾大学英語研究室(研究棟3階)

◆備考

授業内容は変更することもある。

ビジネスコンピュータ（基礎）

齋藤 宣

服飾造形科1年/ファッションビジネス科1年/アパレル技術科1年/高度アパレル専門科1年 後期 選択（演習）

◆授業の方針・概要

ビジネスにおいてコンピューターは必要不可欠である。ビジネスソフトの中でも Microsoft Office 系アプリケーションソフト（Word・Excel・PowerPoint）は各種業界の中でも特に使われている。基礎を勉強することで様々なツールの使い方を理解し、プレゼンテーションや提出資料がより分かり易く、伝わりやすい資料作成ができるよう実践していく。

◆到達目標（学修成果）

Microsoft Office 系アプリケーションソフトの中でも、主に Excel の基礎を理解し、資料作成するための基本操作ができるようになる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目ではありませんが、社会人に必須な PC スキルの基本を身に付ける科目である。

◆授業計画

回数	授業内容		準備学修	
			具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	Word	基本操作	復習：Word ホーム画面の確認	10分
2回		入力・編集	復習：キーボード配列の確認	10分
3回		レイアウト・図表	復習：操作順序の確認	10分
4回	Excel	基本操作	復習：excel ホーム画面の確認	10分
5回		四則演算	復習：四則演算の操作確認	15分
6回		計算初歩	復習：操作順序の確認	10分
7回		計算中級	復習：操作順序の確認	10分
8回		計算応用	復習：操作順序の確認	10分
9回		表作成の基礎	復習：操作順序の確認	10分
10回		表の書式設定	復習：操作順序の確認	10分
11回		表の編集	復習：操作順序の確認	10分
12回		表編集のまとめ	復習：操作順序の確認	10分
13回	PowerPoint	基本操作	復習：PowerPoint ホーム画面の確認	10分
14回		入力・挿入	復習：操作順序の確認	10分
15回		アニメーション・スライドショー	復習：操作順序の確認	10分

◆フィードバックの方法

授業内で不明点がある場合、その場で個人指導を行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価（インターシップ）	—

・授業態度、提出物の遅滞、作品完成度等を総合的に評価する。

◆教科書

なし

◆参考文献

エクセル&ワード&パワポ+エクセル関数 基本&便利ワザまるわかり（GAKKEN COMPUTER MOOK）

◆オフィスアワー

毎週：火曜日（16時00分～17時00分）本校舎3階1036教室

◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。